

観光創造専攻

平成27年度
前期

日本語論述

13:30～15:30

解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
- 2 問題紙は、この紙を含めて2枚である。
- 3 解答用紙(25字×40行=1,000字)は、2枚ある。
- 4 解答用紙は、2枚とも必ず提出すること。
- 5 受験番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 6 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 7 下書き用紙は別途配付されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 8 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題について、1,600～2,000字の日本語（横書き）で回答しなさい。
なお、適当な位置で改行して段落に分けること。また字数は改行による空白を含めて計算する。

観光庁によれば、日本へ来訪する外国人旅行者が2013年は1,000万人を超えた。海外からの観光客を日本各地へ受け入れるにあたって生ずるメリットとデメリットを整理し、日本が2020年までに外国人旅行者を2,000万人受け入れるという政府目標に対して、賛成または反対のどちらかの立場を明確にした上で、観光振興政策のあるべき姿を論じなさい。論述にあたっては、文化・環境・社会・経済のいずれかの視点あるいは複数の視点を含めることとし、国家全体ではなく地域を対象として論じること。

なお、政策に対する賛成・反対は、回答の評価に一切影響しない。